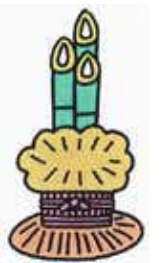




憲法13条

生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。



日本共産党議員団の 年頭のごあいさつ



村椿敏章市議
網走市副委員長

松浦敏司市議
網走市委員長

2024年、新年明けましておめでとございます。

昨年、網走市議会議員選挙では、多くの市民のみなさんご支援により松浦敏司（7期目）、村椿敏章（2期目）の2議席を与えていただきました。心から感謝申し上げます。

選挙で掲げた公約を議会で取り上げて質問し、実現に向けて日々奮闘中です。除雪の問題では、今月から除雪アンケートを行います。ご協力をお願いいたします。

知事選挙では野党候補を応援していただきましたが期待に応えることはできませんでした。また、道議会議員選挙では現有3議席から2議席（旭川、小樽）へと後退する残念な結果となりました。しかし、真下紀子、丸山はるみ両道議が鈴木北海道知事の進める岸田政権のいいなりの政治を迫り、半導体企業ラピダスの問題が浮上りてきています。（左囲み記事参照）

さて、岸田政権の下、パティー券の裏金が社会を揺るがす大問題となり「国民の怒り」が沸騰しています。一昨年の11月6日付のしんぶん赤旗日曜版のスクープがきっかけとなり、大手メディアも昨年

半導体バブル 揺れる北海道
「経済安保」 不安を圧殺
赤旗日刊紙23/11/16より
先端半導体企業「ラピダス」が北海道千歳（ちとせ）市に工場の建設を進めています。ラピダスの進出に伴い、地下水量の低下や汚



新年明けまして
おめでとございます



半導体バブル 揺れる北海道
「経済安保」 不安を圧殺
赤旗日刊紙23/11/16より
先端半導体企業「ラピダス」が北海道千歳（ちとせ）市に工場の建設を進めています。ラピダスの進出に伴い、地下水量の低下や汚染物質の懸念など重大問題が浮上しています。（省略）

北海道の鈴木直道知事は「全庁一丸」として全面的な支援を掲げ、予算措置も講じました。しかし道庁職員からは「対応できるのか」と困惑の声も聞かれました。

日本共産党の真下紀子道議は7月の予算特別委員会で、ラピダスへの予算支出の問題を取り上げ、支出の根拠となる分析を示すよう追及。道側は示すことができませんでした。

地元経済誌はこの質疑を紹介。「ラピダスの野心的な構想に慎重な意見もあるのは事実」「ところが道内主要メディアに、そうした論調は見当たらない」として真下道議の質問は「真つ追及」と評価しました。

流水

自民党の裏金疑惑が社会を揺るがしている。赤旗日曜版がスクープして

重大な疑惑が発覚した。最大派閥の安倍派は、直近5年間で所属議員の大半に5億円をも裏金を還流した疑いで、東京地検特捜部が捜査を始めた。政権中枢の更迭、辞任で疑惑が晴れることはない。巡る疑惑は首相が務めていた岸田派を含む他派閥にも広がり、底が知れない▼15日、今年最後の年金支給に、銀行には行列ができた。年金で何をかうのかと、テレビ報道された。高齢の方が「私は5万円」「俺は7万円で1ヶ月暮らす」と、少ない年金が削られ、物価高で『生きるのが大変だ!』の悲痛の声が聞かれた。国民の苦難をよそに裏金疑惑。まさに「金こそ力」「数は力」の金権政治に自民党の政治を終わらせようと大きな声が上がっている▼早、今年も終わる。時は飛ぶように過ぎる。70歳代では、1年ごとに老いると言われるが、老いにあらがって、今出来る事、やりたい事をやろうと、そして1日に1回以上は笑って生活しようと思っている▼我が家の庭の餌台に雀、野鳥が多数飛来しても賑やか。山には餌が無いのか、ヒヨドリ、カケスまでもが餌取りに参戦している。